

パニツムマブ療法

治療スケジュール

	外観	お薬名	薬の効果	スケジュール (点滴時間)	
				1日目	2-14日
1		パニツムマブ	腫瘍の増殖を抑える	60分	お休み

点滴時の過敏反応

点滴開始直後から2時間後頃に多くあらわれます。
多くの場合、初回の治療中に起こり、2回目からは少なくなる傾向にあります。
しかし、2回目以降に初めて副作用があらわれる場合や、それまでとは違う副作用があらわれる場合もあります。

副作用の主な症状

○発熱 ○悪寒（ふるえ） ○発疹 ○かゆみ ○痛み ○頭痛
○吐き気 ○動悸 ○脱力感 ○咳 ○息苦しさ



***これらのような症状があらわれた場合はすぐに看護師に伝えてください。**

治療の副作用について

皮膚障害

上皮細胞の増殖を抑える薬の治療を受けたほとんどの患者さんでみられる症状です。

- ・ にきびのような発疹やふき出もの
- ・ ひどいかゆみ、皮膚の乾燥
- ・ 爪のまわりの炎症 など

<対策>

- ・ 入浴やシャワーで清潔を保持しましょう。刺激の少ない石けん、ぬるま湯を使用し、皮膚に負担をかけないようにしてください。
- ・ 入浴後は保湿剤を塗って乾燥を防ぐようにしましょう。
- ・ 外出時は日光にあたらないように気をつけましょう。紫外線予防効果の高い日焼け止め（SPF高値、PAの大きいもの）を使用しましょう。

口内炎

治療後5～14日に起こりやすいです。治療前に虫歯を治し、こまめなうがいをして常に口腔内を清潔に保ちましょう。歯ブラシは柔らかいものを使うと良いです。口内炎ができた時は塗り薬やうがい薬を使うこともできます。

電解質濃度の低下

血液中のマグネシウム、カルシウム、カリウムなどの電解質が低くなることもあり、極端に低下すると以下の症状が現れることがあります。その場合、必要に応じて電解質を補充していきます。

- ・ 吐き気・嘔吐
- ・ 手指やくちびるのしびれ
- ・ 筋肉痛、筋肉のけいれん
- ・ 錯覚や幻覚

副作用の出方はかなり個人差があります。お気づきの点や心配な点はいつでもお気軽に医師、看護師、薬剤師までご相談ください。